

[グローバル化への対處とは]

*「地球(c')⇒グローバル化(地球規模化:D1)⇒グローバル化諸概念(F:自由競争・貿易自由化・金融自由化・多国籍企業・文化均質化・環境固有文化破壊、等々)⇒諸概念(F)に對處する精神の政治學の確立(Eの至大化)、即ち所謂『ソフトウェア』(附合ひ方=so called)の適應能力(Eの至大化)の必要性」。

* グローバル化適應異常(D1の至小化)は、「精神の政治學」を喪失化(Eの至小化)するが爲に、「推進化・極端化」が最優先され、結果として、そのグローバル化的諸概念(F:自由競争・貿易自由化・金融自由化・多国籍企業・文化均質化・環境固有文化破壊等)への、so called(距離的把握:Eの至大化)が働かない、と言ふ事になる。故に、「精神の政治學」喪失化(Eの至小化)は、不法を招き、かつ非倫理・不道義となるのである。

